

太平洋横断ヨット一人旅 2カ月半



単独太平洋横断を達成し、到着した米サンフランシスコで花束を手に笑顔の友田享助さん。現地時間17日午後（大阪府田尻町役場提供）

友田さんの太平洋横断ルート



太平洋横断の冒険に挑ん

シスコ到着
「うれしい」

同大・友田さん

小型ヨットによる単独でいた京都市の同志社大四年、友田享助さん（26）が十八日朝（現地時間の十七日午後）、目的地の米サンフランシスコに到着した。

真っ黒に日焼けした顔に、満面の笑み。ヨットハーバーに迎ええた母方里子さん（金心）や友人、操船技術を教わったヨットスクール経営青木洋さん（五巴）らが拍手で友田さんの夢の実現を祝うと、「と

にかくうれしい。自分の力だけでなく、日米両国の大勢の人に支えられて太平洋を横断できた。海上では、この経験を生かして今後の人生をどう生きていくか考えていた」と話した。

友田さんはヨットマンだった亡父勝敏さんの誕生日、八月二日に大阪府田尻町を出港。直後に台風に襲われたり、大波に航海灯をさらわれたりとアクシデントもあったが、「朋友（ほうゆう）」という名が「FOR YOU」と名付けた全長約八メートルのヨットを操り、約二カ月半で大海原を渡りきった。

航海中、田尻町立中学校の生徒たちと衛星電話で定期的に交信。到着を間近に控えた今月十四日の通話では「とても元気です。体調もよく、食欲もあります」と帆走の順調さを伝えていた。